

霧島リノベーションまちづくり戦略会議 2.5回

目的：岡崎市、沼津市、熱海市の事例共有
ゲスト：渡邊和之（沼津市役所）

- ・ 3都市と比べて、人口密度が小さい（広さの割に人数が少ない）
- ・ やめることから始める（一時的な集客イベント、問題の先送り、対処療法）、やめる決断も必要
- ・ 変化に対応する（スピード感

1. 人口増にこっししない
2. ファン作り
3. 欲しい人材を明確に＝ビジョンを明確に

戦略会議とは？

- ・ 「官民の関係性」の構築
- ・ 「霧島のファン（人材）」を増やすための仮説（ビジョン）づくり

▶岡崎市

- ・ 公園活用（水栓施設、高低差のある丘、キッチンカースペース（給排水設備、電気）
- ・ サイクルシェア
- ・ 河川敷の活用（船がつけられるように、屋台船、自然との共有、橋の奥で足場を組んだ屋台）
- ・ 橋の使い方
- ・ snowpeak osoto（本社、コワーキングスペース）
- ・ ゲストハウス ANGLE、クラフトビール、コーヒーブランド
- ・ 道路活用の社会実験 3年以上 白線利用
- ・ wagamama house 地域のcafe、物販、ママさん達がやりたいことをやる
- ・ TAC=MATE（地元コンビニのリノベーション）

▶沼津市

- ・ 泊まれる公園
- ・ バス、宿泊所
- ・ 循環ワークス、ソーラー運営（エコシステム）
- ・ 商店街 道路活用、シェアスペース（ダンススタジオ）
- ・ クラフトビールと飲食店
- ・ 川の活用（テーブルと椅子）、テラス席、空き家回収で常駐店舗の設置、川のテラスイベント

▶熱海市（霧島に似ているところがあるまち）

- ・ 3万人のまちに観光客300万人／年
- ・ 家守舎（市来さんお話）
- ・ ゲストハウス
- ・ まち歩きツアー
- ・ シェア店舗（ジェラート屋、コーヒー、。）
- ・ 坂道の空き店舗の状況
- ・ 歩道をカラー舗装（色でエリア分け）
- ・ 観光以外の熱海の価値

▶霧島市で活用できるところ

ビジョン策定、戦略・構想づくり

↓

- ・遊休不動産活用：キャンプ場、道路活用
- ・事業支援、産業支援
- ・事業支援の人材育成
- ・協議会設立、推進連絡会開催（官民が交流できる場づくり）

▶沼津市公民連携まちづくり事例 ゲスト：渡邊さん

- ・宿泊、パン屋、転貸4件、自主事業4件
- ・まちづくりはみんなのためにという想いではなく、じぶんのためにやる。という想いで結果、みんなのためになるのが良い。
- ・自分事 共感 継続
- ・自分がやりたいこと、やれることを継続してやる
- ・少数派（イノベーター）からはじめる
- ・まちづくりは人との関わり合いを増やす、まちが継続的に存続できる
- ・社会人口増
- ・46事業が誕生（5年間） リノベーションまちづくりに関わった人たちの事業数
- ・起業者などのプレイヤーの掘り起こし、人材育成
- ・小さいリノベーション（民間遊休資産の活用）
- ・大きいリノベーション（公共遊休資産の活用）
- ・まちなか起業支援▶プレイヤーを育てる
- ・100%Uターンシティ
- ・35歳前後が帰ってきやすい、仕事しやすい、暮らしやすいまちづくり戦略
- ・①組織体制
リノベーションまちづくり推進連絡会議、協議会で推進していく
タスクフォース（やりたい人が手を挙げてやる）5人▶28名のチームへ成長
- ・②民間プレイヤー（大家さん含む）
シンポジウム、セミナー
空き家ツアー
- ・③事業化支援
空き店舗活用トライアル起業支援
まちづくりファンドを金融機関がまちづくりに関わってもらう
▶ハード部門（地域交流施設、観光拠点、水辺、古いまちなみ）
▶ソフト部門 スタート支援、ステップアップ支援
▶稼ぐ環境をつくるために補助金を使う
- ・④ビジョン策定
ガイドライン策定
▶質の高い雇用 遊休不動産を活用しながら
- ・委員はテーマごとに変える
- ・自由に発言できる環境づくり、顔を出してもらい責任を持って発言してもらう
- ・戦略会議：民間と行政が会議を通して、お互いのプロジェクトの進め方や課題の共有をする
- ・今までの計画・構想は行政主導の策定で体裁だけで実現可能性が低い
▶市民や民間が自らやりたいことをベースに吸い上げをする▶実現可能性が【高い】
- ・計画に基づいて実現されたことの話題性▶メディア、取材
- ・同じ方向性を向いていくためのビジョン

- ・やりたいことがやりやすくなる
- ・行政が取り組むための理由づけ
- ・事業化例
 - ①日常的に河川敷に机と椅子 怒られたら撤去
 - ②一軒家を転貸でゲストハウスに 30万円売り上げ、8万円経費/月
 - ③クラフトビール 本とパンとコーヒー On The Terrace 週一回
 - ④グラフィックデザイナー専用のシェアオフィス
 - ⑤ダンススタジオ
 - ⑥道路活用などのマネジメント会社 年1回の申請でいい
 - ⑦定期マーケット～週末の沼津～ 公園で
 - ⑧公共不動産の活用 inn the park 旧少年自然の家の活用事業
 - ⑨公民連携推進担当▶財産管理課、公園緑地課、教育委員会などのタスクフォース
 - ⑩まちづくりファンドの設立（民都機構、地元金融機関）
 - 11 マウンテンバイクのパーク

- ・丸投げではなく、役割ごとの分業、任せる部分は覚悟をもって任せる

まちの期待値を上げる

- ・物件リノベ（社会実験）▶公共空間活用（マーケティング、社会実験）▶公共空間整備再編▶総合整備事業 20年ぐらいかかる

- ・外からの人の方が関わっている人は多い。地域の魅力、資源を知っている。
- ・楽しい場、居心地の良い場をつくると結果的に関係人口、移住系も増える
- ・自分がどうだったらココに住むか？を考える
- ・モチベーションは？楽しいから